



Yokohama Arts Foundation

令和2年1月15日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
横浜市民ギャラリーあざみ野

横浜市所蔵カメラ・写真コレクションから最初期の写真術「ダゲレオタイプ」を探る あざみ野フォト・アニュアル 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 ダゲレオタイプ -記憶する鏡



世界初の写真・ダゲレオタイプ 人々を驚愕と熱狂の渦に巻き込んだ「記憶する鏡」の魅力に迫る

横浜市民ギャラリーあざみ野では毎年、収蔵する約1万件の「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を様々な切り口から紹介する展覧会を開催しています。2019年度は、写真誕生から180年を記念し、世界で最初の写真術であるダゲレオタイプをテーマに、コレクション約100点を紹介します。

ダゲレオタイプはフランスのルイ・ジャック・マンデ・ダゲールによって発明され、1839年に公表されました。当時はヨーロッパを中心に、各地で写真の発明に向けて様々な試みが行われていたこともあり、その発表は衝撃をもって迎えられたといえます。ダゲレオタイプは銀メッキした銅板に写す写真術で、鏡面のように磨かれた銀板に、光によって写しだされた精緻なイメージは、「記憶する鏡」とも言われ、人々を驚嘆させました。

また初期の写真家は、科学と芸術の要素を併せ持つ写真に、写真館経営などの新しいビジネスへの期待を持って参入し、ポートレイトの撮影を可能にするなど技術革新を重ねながら様々な表現を生み出してきました。

本展では写真が誕生したヨーロッパ、ダゲレオタイプが大きく発展したアメリカを中心に、写真がその初期においてどのように伝わり、受容されていったかを、写真、カメラ、撮影器具や関連資料を通じて探ります。



キャロライン・オルムステッドの肖像/ジョン・アダムス・ホイップル/1855年

開催概要

【展覧会名】あざみ野フォト・アニュアル

横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 ダゲレオタイプ-記憶する鏡

【会 期】令和2年1月25日(土)～2月23日(日) 10:00-18:00 ※1月27日(月)休館日

【会 場】横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室2

【料 金】入場無料

【主 催】横浜市民ギャラリーあざみ野 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

【協 力】麒麟ビール株式会社

会期中は、ダゲレオタイプワークショップ他関連イベントを開催します。詳細は添付チラシ、またはホームページ (<https://artazamino.jp/event/photo-collection-2020/>) をご覧ください。

※ぜひ当事業の取材、情報掲載をお願い申し上げます。
取材の際は、事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先 *本日は17:30まで在席しております。

横浜市民ギャラリーあざみ野 【公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団】

館長 森井健太郎 担当 佐藤直子、日比谷安希子 TEL: 045-910-5656

あさみ野フォト・アニュアル
横浜市所蔵
カメラ・写真コレクション展

ダゲレオタイプ

2020年1月25日「土」↓2月23日「日」※1月27日「月」休館

10:00→18:00

横浜市民ギャラリーあさみ野
展示室2

Yokohama Civic Art Gallery, Azaminno
入場無料



キャロライン・オルムステッドの肖像
ジョン・アダムス・ホイップル
1855年

記憶
する
鏡

主催：横浜市民ギャラリーあさみ野（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
協力：キリンビール株式会社

『横浜市所蔵カメラ・写真コレクションとは』
 横浜は日本における写真発祥の地の一つとして、近代日本の写真映像文化の歴史に大きく貢献したと言われていています。横浜ではこうした歴史を踏まえ、映像文化都市づくりを進めるため、アメリカのサーマン・F・ネイラー氏が40年にわたって世界各地から収集したカメラ、写真、写真関連アクセサリ、資料及び文献のコレクション約1万点を平成5・6年度に取得しました。



ダービッドマンション、ポートランド
 S・L・カールトン
 1854年頃



ナイアガラ瀑布
 ブラッド・D・バビット
 1853年頃

〈イベントのお申込方法〉

必要事項を明記の上、「ホームページの申込みフォーム」「直接来館（アートフォーラムあざみ野2階事務室）」のいずれかでお申込みください。あざみ野カレッジのみお電話でのお申込みも可能です。

- ・複数のプログラムに参加ご希望の方は、お手数ですが別々にお申込みください。
- ・提供された個人情報は今回の事業実施のためだけに使用し、その他の目的で使用することはありません。

〈保育について〉

「保育あり」のプログラムにご参加の方は、プログラム時間中に主催事業保育料金にて1階の保育室（予約制、対象年齢：1歳6ヶ月～末就学児）をご利用いただけます。詳細はアートフォーラムあざみ野「子どもの部屋」（Tel.045-910-5724）までお問合せください。※2ヶ月～1歳5ヶ月児の保育につきましてはご相談ください。

〈お問合せ〉

横浜市民ギャラリーあざみ野
 (公益財団法人横浜芸術文化振興財団)
 〒225-0012
 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3
 アートフォーラムあざみ野内
 TEL = 045-910-5656
 FAX = 045-910-5674
 http://artazamino.jp/
 E-mail = info@artazamino.jp
 twitter = @artazamino

〈交通案内〉

東急田園都市線「あざみ野駅」
 東口 徒歩5分
 横浜市営地下鉄「あざみ野駅」
 1・2番出口 徒歩5分
 駐車場 = 27台 (有料・予約制)
 TEL = 045-914-5910
 ※詳細な地図や設備はこちらから
 http://artazamino.jp/barrierfree



『ダゲレオタイプとデジオラマの技術に関する歴史と詳細』
 ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール著、アルフォンス・ジルー出版
 1839年

ダゲレオタイプ・ワークショップ

ダゲレオタイプで制作する写真家・新井卓氏を講師に迎え、
 ダゲレオタイプでセルフポートレイトを撮影するワークショップを開催します。

日時 = 2月1日(土) 10:00 → 16:00 会場 = 3階アトリエ

講師 = 新井卓 (写真家)

対象・定員 = 15歳以上 10名 (応募者多数の場合、抽選)

参加費 = 8,500円 (材料費込)

※2010、2013年に当館で開催した「ダゲレオタイプ・ワークショップ」に参加された方は対象外となります。※化学薬品を使用します。妊娠・授乳中の方は参加をご遠慮ください。

あざみ野カレッジ「アメリカのダゲレオタイプ」

ヨーロッパよりも長い期間制作され、発展したアメリカのダゲレオタイプについて、
 担当学芸員が2018年度に現地で行った調査をもとにお話します。

日時 = 2月15日(土) 14:00 → 16:00 会場 = 3階アトリエ

出演 = 日比谷安希子 (横浜市民ギャラリーあざみ野学芸員)

対象・定員 = 高校生以上 50名程度

※参加無料、要事前申込み(先着順)・保育あり

学芸員によるギャラリートーク

日時 = 2月9日(日) 15:00 → 15:45 会場 = 展示室2

※参加無料、申込不要(直接会場にお越しください)

横

浜市民ギャラリーあざみ野では「あざみ野フォト・アニマル」と題し、
 毎年、写真表現の現在を切りとる企画展と横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展を同時開催しています。
 2019年度のコレクション展では、写真誕生から180年を記念して、
 世界で最初の写真術であるダゲレオタイプをテーマに、コレクション約100点をご紹介します。

ダ

ダゲレオタイプはフランスのルイ・ジャック・マンデ・ダゲール(1787-1845)によって発明され、
 1839年にパリ学士院で公表されました。当時はヨーロッパを中心に、
 各地で写真の発明に向けて様々な試みが行われていたこともあり、その発表は衝撃を持って迎えられたといえます。
 ダゲレオタイプは銀メッキした銅板に写す写真術で、複製は出来ませんが、鏡面のように磨かれた銀板に、
 光によって写しだされた精緻なイメージは、「記憶する鏡」とも言われ、人々を驚嘆させました。

初

期の写真家は、科学と芸術の要素を併せ持つ写真というメディアに、写真館の経営をはじめとする新しいビジネスへの期待を持って参入し、
 露光時間の短縮によってポートレート撮影を可能にするなど、技術革新を重ねながら様々な表現を生み出してきました。
 本展では写真が誕生したヨーロッパ、ダゲレオタイプが大きく発展したアメリカを中心に、
 写真がその初期においてどのように伝わり、受容されていったかを、写真、カメラ、撮影器具や関連資料を通じて探ります。

ダゲレオタイプ処理用具一式
 製作者不詳
 1845年頃

